

**経済産業省生産動態統計と工業統計について
令和元年6月SNA部会後の補足説明
(半導体製造装置の「ウェーハプロセス用処理装置」部分)**

令和2年3月

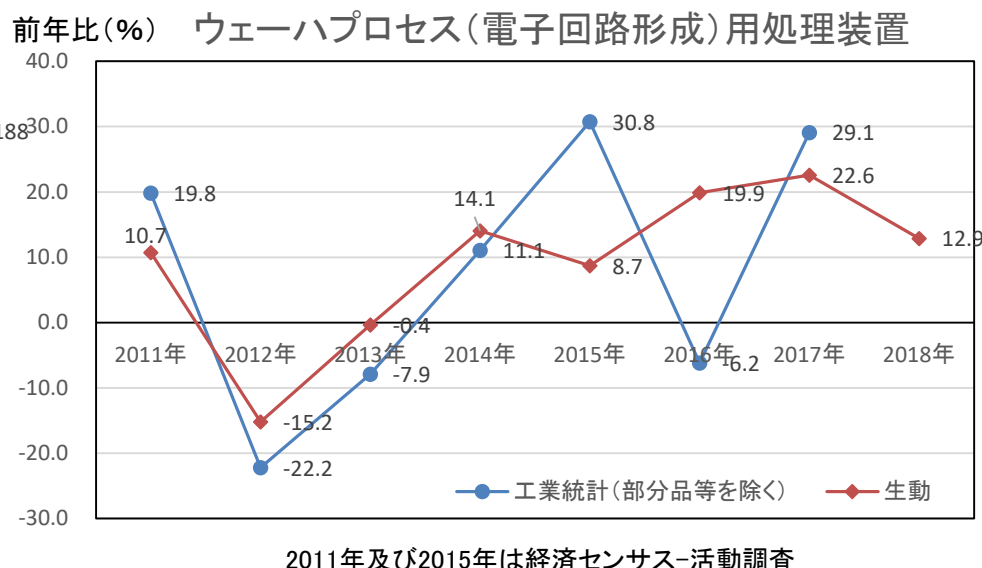
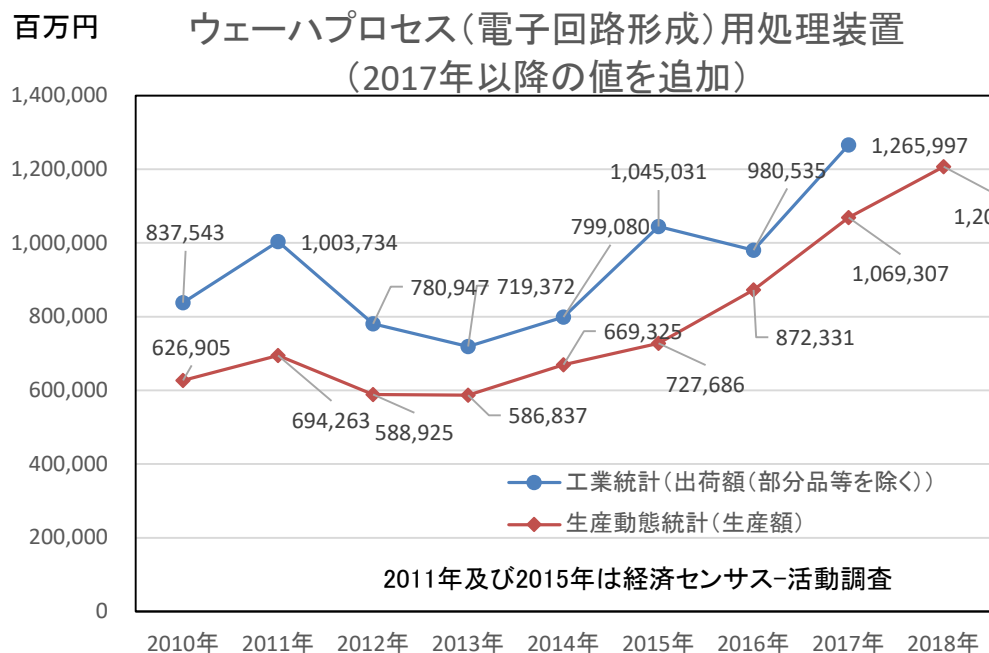
経済産業省 調査統計グループ

1 SNA部会（令和元年6月）の報告内容について

②半導体製造装置（うちウェーハプロセス用処理装置）（6月 説明資料より抜粋）

- 生産動態統計は毎月の事業所の生産額ベース、工業統計は会計年度における事業所の出荷額ベースで記入されているといった違いも数値に表れている可能性がある。1台あたりの単価も高く、その数値の処理の違いが結果に大きく影響する可能性がある。
- 生産動態統計と工業統計の個票を確認し、今後、調査対象の事業所を捕捉することで水準差が縮まる可能性があるのではないかと考えられる。

個票の確認を実施した結果及び
企業にヒアリングした結果をご報告



2 半導体製造装置（うち、ウェーハプロセス用処理装置）の状況

- 企業から実際の算出方法についてヒアリングを実施（ある企業の場合）

生産動態統計調査：毎月の本社への売上（製品の台数×評価価格）から、月末在庫増減(半製品・仕掛品在庫)を調整した額を事業所の生産額として報告。

工業統計調査：実際の販売価格を出荷額として報告。

半導体製造装置のような単価の高い商品では販売価格（評価価格）の差で両者の数値が乖離する。

- 生産動態統計は毎月の事業所の生産額ベース、工業統計は会計年度における事業所の出荷額ベースで記入されているといった違いも数値に表れていることが確認された。半導体製造装置のように製造期間の長期の品目については、報告者側も報告に苦慮している状況。このような状況である点に留意してデータをご活用いただきたい。